



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

広
報

わたむき

第 55 号

発行 綿向生産森林組合
日野町大字村井1352
発行責任者 山田 彰一

第78回 通常総代会を開催しました

日時：令和7年6月28日(土) 13時30分開会

会場：日野町林業センター

総代の出席者数

総 代 数 195人
本人出席 66人
書面議決 73人
合 計 139人
(出席率 71.2%)



組 合 長 あ い さ つ

皆さんこんにちは。

例年にも増して厳しい暑さの毎日となっています。昨日のニュースで、梅雨が明いたと聞きました。これから厳しい暑さの毎日になりますので、体調の方、皆さん気を付けていただきたいと思います。

それでは、本日第78回通常総代会を開催するにあたりまして、総代の皆様にはお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

また、ご来賓の方におかれましては、公私ご多用中にも関わりませずご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。平素より当組合の運営に格段のご理解ご支援いただいておりますこと、高席ではございますが御礼申し上げます。

さて、本年4月より開催されております「2025年日本国際博覧会」では、皆様もご存じのように「いのち輝く未来社会のデザイン」という理念をかかげています。

私たちの命は、宇宙・海洋・大地という器に支えられ、お互いが繋がりあって成り立っているということです。当組合も長きにわたり山々の恩恵を受け、歩んでまいりました。近年、森林経営は大変厳しい状況下ではありますが、その中で未来を見据え、古きを重んじ、時代の流れにあった経営を取り入れて組合の価値向上、地域環境の保全に取り組みたいと思います。

緑豊かな財産を健全な形で次世代につなげるため、皆様には今後とも変わりませずご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

本日はありがとうございます。

組合長理事 山田 彰一

第78回 綿向生産森林組合



総代会でのご質問

脱退者に関して

Q. 今後、ますます脱退者が増えていくのではないかという思いがしております。
利益が出て、還元が受けられるところに出資をするのが当然のことだと思います。
組合長さんなり、ご存知でしたらご説明いただけますでしょうか。

A. (組合長答弁) 脱退者の件につきましては、できるだけ組合に残っていただきたいと考えておりますが、それぞれご事情もあり、無理に引き留めることは難しいのが実情です。
組合としましては、綿向山を中心とした環境保全を通じて、何とか次の世代に引き継ぐ為にも、組合員さんのお一人お一人のご理解をいただきたいと願っております。総代の皆さんにおかれましても、脱退をお考えの方がおられる場合は、ぜひご理解とご協力をお願いし、可能な限り組合に留まっていただくようにご説明いただけたらありがたいと思っています。

Q. 「組合員さんの気持ちでやっていきたい」、「組合員さんにお願いします」というだけの話では、皆さん納得できないと感じております。
組合に魅力があり、「この組合にこれからも関わっていたい」と思っていたようなメッセージを発信していただきたいと思います。今後の審議をよろしくお願いします。

A. (組合長答弁) 組合の魅力という事のお話かと思いますが、理事会でもこれまで何度も協議を重ねてまいりました。また、歴代の先輩方も同様に何度もご協議されていたと思います。ただ、山の方に魅力を感じていただけなかったという現状は、今後の課題になると思っています。
理事会としましては、魅力ある綿向生産森林組合にしていけるよう、頑張りたいと思います。皆さまの中でも「こうしたらどうか」というご意見やお考えがありましたら、ぜひお聞かせください。
綿向生産森林組合が、より魅力あるものとなるように頑張りたいと思います。どうぞこれからも励まし、お力添えをお願いいたします。

脱退者に対しての基準



Q. 組合として、脱退に対しての基準というのを明確にしておかないと、いろんな問題がでてくるんじゃないかと、そこら辺あるのかなのか。お話を聞かせていただけたらありがたいのですが。

A. (組合長答弁) 基準は、今のところ理事会での話し合いだけです。それと定款に合わせて脱退を認めるかどうか慎重に審査協議しております。基準を作ったかどうかという事は、今後検討させていただきたいと思っています。

総代会でのご質問



木材販売計画について

Q. 今年も予算書で木材販売の項目が「0」となっています。木材がこんなにもあるわけですから、もっと販売の可能性についてご検討いただけないでしょうか。

また、50年を過ぎた木は次第に保水力が落ち、このところ植栽も行われていないので、今後の山の健全性についても懸念されます。

さらに、先ほど組合員の減少についてご意見が出ておりましたが、毎年配当が出るようになれば、皆さん喜んで入っていただけたと思いますので、その意味でも木材販売方法の検討をお願いします。

A. (事務局答弁) 木材販売について説明いたします。以前は「立木販売」といって、山で育った木をそのまま素材業者に買い取ってもらう販売方法を行っていましたが、木材価格の下落や、伐採後の植え替え時のシカによる被害の影響もあり、現在は間伐を中心とした管理を進めています。

また、皆伐については、組合が所有する山林のうち、50年以上の多くが「保安林」に指定されており、法律上、一斉に伐採することができません。そのため、数年前から滋賀県とも協議を続けておりますが、現時点では規制の影響で皆伐は難しい状況です。今後も引き続き、県との協議を重ねてまいります。

綿向山森林整備の進捗および登山道の通行止めについて

令和6年4月より森林整備のため「綿向山登山道」を通行止めとし、入山を禁止しております。作業は当初の予定より順調に進んでおり、作業範囲も拡大しています。

現在、森林作業道は7合目付近まで完成しており、今後は「高落谷（7合目より北側）」へ延伸する予定です。

また、今年度 間伐作業は3合目から5合目付近にかけて実施する予定です。

今後も安全確保のため、「**綿向山登山道**」の**通行止めおよび入山禁止を継続いたします**。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



組合の動き

嶽まつり（大嵩神社御祭礼）

斎行日 令和7年4月20日（日）

場所 佐久奈度神社
大嵩神社（綿向山山頂）

恒例の「嶽まつり」が古式に則り行なわれ、日野まつり関係者が登山されました。
（当日は作業を中止し、一時的に入山を可能といたしました）



東洋アルミグループ森林保全活動

開催日 令和7年7月12日（土）

場所 蔵王 勝手谷

東洋アルミグループの皆さん18名で、防護ネット設置作業をしていただきました。



松茸山(菌山)預け札入札会

今年も「預け札」のみで行います。
お一人様、何口でも入札していただけます。
最低入札価格は、2,200円(税込)です。

受付期間 令和7年9月1日(月)～10日(水)
午前8時30分～午後5時（土・日は休みです）

受付場所 綿向生産森林組合 事務所

開 札 令和7年9月11日（木）午前9時

